

# Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 **東京多摩グリーンロータリークラブ**

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

## 第179回 例会報告 (6/29) [最終例会]

司会者 SAA 橋口 洋三

◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「奉仕の理想」  
ソングリーダー 菊池 敏◇お客様紹介 会長 横倉 舜三  
由井 重光様 (東京多摩RC)  
伴 よし子様 (東京港南RC)

### ◆ 幹事報告 幹事 北村 幸彦

#### 1) 例会変更のお知らせ

東京調布ロータリークラブ  
7月4日(月) → 12:30分を3時に変更  
場所は変わりません。  
8月15日(月) → 定款による休会

#### 2) プレゼントのお知らせ

由井特別代表の奥様より本日ご列席の奥様方にゴマのプレゼントがございました。大変おいしいゴマだそうです、ご報告申し上げますと共に代表致しまして厚く御礼申し上げます。

## 委員会報告

### ◆ 出席委員会 委員 猪股 末男

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日 報告	53	50	0	2	96.15%
前回 訂正	53	43	6	3	94.23%

### メイクアップ

菊池 敏 (6/23 稲城)  
戸田 昭寿 (6/23 " )  
若林 滋和 (6/23 雑誌委員長会議)  
吉尾 警太郎 (6/23 社会奉仕委員長会議)

### 欠席届出

高野 範城  
欠席者 なし

### ◆ 環境保全委員会 委員長 吉沢 洋景

環境保全委員会からお願いしていた募金への募金合計額がこの一年間で181,282円になり先日全額をガバナー事務所の方へ送金手続きしました。

## ◆会長退任挨拶

会長 横倉 舜三



やれやれと重荷を降ろして、ホットしているという心境であります。そう言っても次年度の役員はこれから始まるわけで大変だと思いますが、宜しくお祈りします。

この一年会員の皆さんには大変なご協力を賜り、何んとか役目を終えることができましたことを心からお礼申し上げます。同時にかけながらご協力を頂いた会員の奥様方に改めてお礼申し上げます。

特に本年はガバナー賞、受賞の対象となった「まちづくりシンポジウム」の開催に当って社会奉仕委員長の隅会員のお骨折りに対し感謝とお礼を申し上げます。

またモンゴルから4名の看護婦さんを研修生として老人ホームに招いた事業についても国際奉仕委員長の大松さんには大変お骨折りをかけました。この事業によって国際交流や国際親善の役割を果たすことができました。

最近では台北で行われた国際大会に当クラブから、奥様を含めて26名が参加したことはロータリーを理解しようとする熱意の表れであると深い敬意を表するものであります。お世話いただいた赤尾前会長に対し御礼を申し上げます。

その他例会には出ていなくても会報発行の責任だけは果たしていただいた小島会員。また例会には花一輪を飾り、なごやかな雰囲気を作り出した環境保全、広報委員にお礼申し上げます。

そして幹事も私に合わせて、適当にやって頂いたことにお礼申し上げます。

さて一年を振り返って見ますといろいろなことがありましたが、特に私達の努力が足りなかったのが会員増強であって、当初掲げた

目標に達しなかったことであります。次年度でこれをカバーしなければと思っております。

これから質のいいクラブとして成長、維持してゆくために会員増強が大事な要素であります。どんどん、いい会員が入って戴くためには、いくつかの条件がありますが、一つにこの街の活性化が図られることで街の発展がないところに地域におけるクラブの活性化はあり得ない、さびれた街に、いいクラブは生まれません。

次年度は地域発展委員会をつくったり、新たな感覚で活動計画が進められていることに大きな期待を持っております。

多摩ニュータウンという新しい街は形は出来てまいりましたが、まだまだ決して満足のゆく状況ではありません。核としての永山地区、多摩センター、堀之内そして南大沢駅周辺もこれからであります。モノレールが開通するからと言って決して多摩に流れてくるものではない立川に多摩の人が吸い取られて行くだけだ、何んとかしなければと多くの有識者も考えているところだと思いますが、その活性化を図ってゆく突破口をつくってゆくの地域ロータリーではないかと思えます。それがグリーンロータリーではないかと思えます。「行動に信念を持ち、信念は行動に移す」ということに行きつきます。

多摩の発展は行政や公団による街づくりから、地域の事業所や住民の手に取戻すことです。

国際大会で台湾を訪れ、高尾や台北の夜店を見て歩きました。そこに人間のエネルギーを感じました。地域の人々によるエネルギーこそが街の活性化をもたらすものと考えます。

人間性に根差した街づくりこそが多摩の街に必要なのです。庶民の食慾を満たしたり、心の満足が得られるような街づくりが今求められている、自由な街づくりを導入すべきであり、街が活性化すれば、新しい会員も増え多摩グリーンロータリーの発展につながるものと思えます。

この一年を振り返って見ますと、歴代の会長、幹事さんなどが作り上げてきた基礎の上に乗っかって、ただ走ってきたということに過ぎませんでした。次年度は活力に満ちた活動が展開されるだろうと期待されております。

本年度はその間に挟まって、継ぎの役目を果たしてきただけのように思います。継ぎというのは結構大事なんです。夏には、「もりそば」「ざるそば」等を召し上がりますが、“おそば”はそば粉だけで練っても、つながらない、だから、うどん粉や山芋などを継ぎに入れて、しこしことした、腰のあるそばの味を出すためには継ぎのうどん粉の役割もあると思う。いまそんな役割を果たしてきたことを自己満足に思っています。

長いこと皆様のご協力に対し深じんなる敬意を申し上げ退任の挨拶といたします。

#### ◆幹事退任挨拶

幹事 北村 幸彦



至らない幹事ながらも任期を全うすることができましたのも一重に会員の皆様全員のご協力の賜物と心より感謝申し上げる次第です。

当初より会長が今年はずなぎだなどと申しおりましたのでついその気になっておりましたが終わってみればどうして結構成果を上げているのではないかと考えられます。

これもひとえに会長のお人柄によるものではないかと考えられます。

チャーターナイト以来のイベントでもあった『多摩を考えるシンポジウム』では集客に際しても会員ご家族の皆様方の協力を得会場を満席にするほどの盛況で終わる事ができましたのは横倉年度の記念すべき事業として忘

れる事が出来ません。

勿論、社会奉仕の隅委員長への献身的な努力と足立、海野会員らのご協力にも感謝申し上げる次第です。

又、もう一つの事業でもあった『サインバイノウ』も大松世界社会奉仕委員長の努力により大きな成果を得たものと確信いたしております。これも大勢の皆様のご協力を得、特に楽友会の新海理事長始め職員の皆様方には大変お世話になりました。

この二つを無事成功させただけでも横倉年度の活動としては十分評価されるものと思われま

す。こういう大きなイベントを行うに当たっては常に募金がついてまわることが多く、その点におきましても担当委員長の皆様のご苦勞に感謝申し上げます。その他、今年度の活動につきましては会長の方からお話がございましたので割愛させていただきまして、皆様の暖かいご協力に感謝申し上げます退任の挨拶とさせていただきます。

#### ◆今年度役員理事退任紹介

会長 横倉 舜三



#### ◆次年度役員理事紹介

次年度会長 宮本 誠



## [親睦・懇親会]

### ◆開会挨拶 親睦委員長 吉尾 警太郎

今晩は!ご多忙のところ多数お集まりいただきありがとうございます。我々グリーンRCがこの一年間を無事に過ごせたのもひとえにご家族、とりわけ奥様方のご理解のためものと考え有難く存じ、その労に少しでもお応えできればと思いこの様な企画を行わせていただきました。後程、横倉会長から“お茶”をふるまう趣向も用意いたしておりますのでどうかごゆっくりとお楽しみ下さい。

### ◆お客様紹介 会長 横倉 舜三

沢目 信子様、橋 真由美様  
足立 卷子様、赤尾 ヨシコ様、遠藤 秀子様  
北村 操様、宮本 朱美様、村上 郁子様  
中山 洋子様、杉田 久子様、高村 ミチ様  
田中 タツ様、海野 幸江様、吉沢 都貴子様  
鶴海 正子様、伊東 晶子様、小林 ミツ子様  
杉山テル子様、横倉 キヨ子様

### ◆特別代表ご挨拶

東京多摩RC 由井 重光 様

お招きいただきましてありがとうございます。先程から拝聴しまして、最終例会も非常にテキパキと進行がなされ、来年度に向けてスムーズに引き継ぎがなされているように思います。会長さんが今年度は“つなぎだ、つなぎだ”と申しておられますがそんなことはない訳で、とても素晴らしい活動をされました。こんな形で仲良く運営されれば多摩グリーンRCは益々盛り上がるものと確信いたします。クラブについての話はともかく、実はつい先日6月23日が私の誕生日なのですが思いもかけず素晴らしい似顔絵を贈っていただきました。今日もここに持参しておりますが、本当にありがとうございます。心からお礼申し上げます。

### ◆乾杯 直前会長 赤尾 恭雄

役員・理事・会員・会員夫人が皆様一体となってこの年度を終えることが出来ました。お互いに感謝し合うということで乾杯をいたしたいと思います。

★★★★★★★★★★

ニコニコBOX 親睦委員長 吉尾 警太郎

★★★★★★★★★★

赤尾ヨシ子様 国際大会では大変お世話になり、ありがとうございます。

横倉 舜三 本年は会員の皆様には大変ご協力賜りありがとうございました。

北村 幸彦 今年一年間皆さま方は大変お世話になりました。やっと終了することが出来ました。

宮本 誠 横倉さん、北村さんパンザイ

赤尾 恭雄 最終例会を迎え、横倉会長、北村幹事、ご苦労様でした。更に来年度の飛躍を期待して

本年度最後のコンペ(第19回)も無事終了致しました。親睦委員会の皆様ご苦労様でした。

吉沢 洋景 会長、幹事、役員、理事の皆様、1年間ご苦労様でした。

佐伯 和廣 1年間ご苦労様でした。

村上 久 結婚祝いありがとうございます。

橋本 幸夫 一年間役員として任期をまっとうすることが出来ました。皆様のご協力に感謝を申し上げます。

関岡 俊二 横倉会長、北村幹事、そして会員の皆さま一年間大変お世話になりました。

海野 栄一 横倉、北村年度最終例会の今日、スクラッチ会で優勝できましたので

橋口 洋三 最終例会ですので

萩生田茂夫 横倉、北村さんご苦労様でした。

小林 和夫 最終例会ノ出席ハ初メテナノデ

藤本 吉文 最終例会おめでとうございます。

伊東 巖 北村幹事今日は大変お世話になりました。雨が上がりお陰様で楽しくプレーができました。

根本 泰守 先週酒組合研修旅行で伊東へいってきました。バスガイドの顔を見てビックリ台湾行の時羽田迄送っていただいた菊地さんでした。

猪股 末男 最終例会に出席できありがとう  
 伊藤 英也 お客さんようこそ  
 田中 實 横倉さん1年間ご苦労様でした。宮本  
 さんががんばってください。  
 大熊 将夫 会長、幹事、理事、役員の皆様ご苦  
 労様でした。  
 津守 弘範 横倉会長、北村幹事ご苦労様でし  
 ました。  
 新海源四郎 今年度役員の皆様御苦労さまでし  
 ました。  
 須藤 起雄 最終例会でご苦労さまです。次年度  
 が楽しみです。  
 菊地 敏 今年度の会長、幹事、他理事の方々  
 皆様ご苦労様でした。  
 隅 耕造 皆様いろいろと有難うございま  
 した。今後も外でのお付き合いのほど  
 宜しくお願い致します。  
 中山 恒武 来期、よろしくお願い致します。  
 森田 舞子 最終例会、会報がやっと終わるか  
 としたら、次年度も会報です、よろ  
 しく願います。  
 大松 誠二 最後の例会になりました。(理事とし  
 ての)ありがとうございました。  
 足立潤三郎 横倉会長。北村幹事1年間大  
 変御苦労さまでした。  
 戸田 昭寿 7月11日から、日野税務署が業  
 務を開始します。忙しくなりそうです。  
 今月はなかなか出席できません。  
 吉尾警太郎 長い間ありがとうございました。  
 サヨウナラ

合計 139,000円

### ◆結婚祝、誕生祝

親睦委員長 吉尾 警太郎

伊東 巖 会員

### ◆出席表彰

出席委員長 遠藤 二郎

出席率向上のためにご協力いただきまして  
 ありがとうございます。次年度も高い出席  
 率が達成出来ますようにご協力下さい。

#### ◎四半期100%出席会員表彰

赤尾、遠藤、藤本、萩生田、橋口、橋本  
 平野、伊神、菊池、北村、小城、宮本  
 森田、村上、中山(恒)、奥田、大熊、佐伯

新海、須藤、杉田、隅、高野、田中、海野  
 横倉(舜)、吉尾、吉沢、鶴海、伊東、伊藤

#### ◎1993～94年度100%出席会員表彰

赤尾、遠藤、橋口、伊神、菊池、北村  
 小城、宮本、村上、大熊、佐伯、新海  
 須藤、田中、海野、横倉(舜)、吉尾、吉沢  
 鶴海、杉山

100%出勤 西川

### ◆1993～94年度 委員会所見

SAA委員長 橋口 洋三

今年度のSAAの任務は、秩序正しく、品  
 位あり、しかも能率的なロータリークラブの  
 会合を維持することに努力し、クラブの来訪  
 者および会員に良い印象を与えるようにする  
 こと、そして会場の設備、装置の点検を行  
 い、且つ目立たないように例会の全体的進行  
 にあたることを目標にして行動して参りまし  
 ました。また12月からは米不足の状況下で、月に  
 一度は米なしデーとして食事に配慮しまし  
 ました。また、会長幹事には今年度からタスキを  
 用意して着用していただいております。会員  
 の皆様のご協力に心からお礼申し上げて報告  
 といたします。

プログラム委員長 奥木 博勝

今日は最終例会ということで、ワープロの  
 打てない私に代わって一生懸命にプログラム  
 を作成してくれた橘真由美さんを連れて参り  
 ました。この一年の労をねぎらい感謝致した  
 いと思います。

社会奉仕委員長 隅 耕造

本年“TAMAらいふ21”という催しが実施  
 され私達も「新しい多摩を考えるシンポジウ  
 ム」を開くところとなりました。開催にあ  
 たっては、会員各位はもとより、奥様方のご  
 協力も得て大きな成功を収めることができま  
 した。クラブにとっては全員が参加して行っ  
 たチャーターナイト以来のイベントとしても  
 位置付けられる訳で、素晴らしい経験をさせ  
 ていただいたと感謝しております。

## ◆会員夫人から…

田中 タツ 様

本日はお招きいただき有難うございました。かれこれ4・5年になりますか、発足以来、会員の皆様やご夫人のご参加も着々と増えているように感じます。出席する度にどこやかな気分でご過ごさせていただいております。特に今年は国際大会にも出向かせていただき、いつもと違う雰囲気も見ることができました。来年度もまた楽しみにしておりますのでよろしく願いいたします。

吉沢 都貴子 様

お招きいただき有難うございました。突然「何かスピーチを」と指名されてしまいました。主人が当クラブボーリング同好会の会長ということのようですが、私も実は週に2回くらい、ボーリングをしております。ボーリングの会を催される機会があれば喜んで参加をさせていただきます。皆様とご一緒にあの爽快感を味わってみたいと思います。

赤尾 ヨシ子 様

最終例会にご招待いただき有難うございました。ご指名をいただきましたが、あがり症なので、…この様な機会に度々参加させていただいて、どこやかで楽しい気持ちでいつも楽しませていただいております。皆様それぞれお忙しいかと思いますが、いろいろな活動に熱心に取り組まれているお姿を拝見でき、本当に嬉しく思います。これからもよろしく願いいたします。

## ◆退会ご挨拶

隅 耕造 会員

今般、一時的に会を離れることになりました隅耕造です。チャーターナイトを始めとする創立来の活動に加えて、今年度は理事として、又社会奉仕委員会活動の一環として“新しい多摩を考えるシンポジウム”の実行に参与させていただくなど大変貴重な体験をさせていただきました。クラブも5年目を迎え益々活発な活動を期するところとなって参り、私としては誠に後髪を引かれる思いではありますが…しばらくのご猶予を頂戴したいと存じます。クラブは離れるところとなりますが友人としてのふれあいは今後も続けさせていただけると思いますのでよろしく願いいたします。

## ◆会長、幹事へ感謝状・記念品贈呈

次年度会長 宮本 誠



## ◆次年度会長挨拶

次年度会長 宮本 誠

93～94年度会長、幹事、役員、理事の皆様大変ご苦勞さまでした。振り返ってみますと今年度は数多くの実績を残されております。、来年度の責任を痛感する次第です。ともあれ来年度は「電車ゴッコ」の「のり」でワイワイ元気にやれればと思っております。先ず手始めに今夜は「トキの声」を挙げたいと思いますのでご唱和ください。

“エイ! エイ! オー!”



## ◆閉会挨拶

幹事 北村 幸彦

本日は長時間にわたりご参加いただき誠にありがとうございました。楽しんでいただけましたでしょうか? 次年度も趣向をこらした催しが色々行われる様です。ご期待下さい。

本日はありがとうございました。



「ロータリーと私」

1992～1993 会長 赤尾 恭雄

国際大会ですが、当クラブから同伴を含めて26名、別ルートから1名の計27名の参加が得られました。国際大会は私どもにとって初めてでしたが、やはりロータリー組織の大きさを感じました。



今回は参加された会員の皆様のご協力によりスムーズにスケジュールをこなすことができましたが、大会開会式前日になって登録カウンターより連絡があり当クラブは夜の第2部に参加と変わり、ツアーのスケジュールを見直す事になりましたが皆様の協力があり、無事過ごすことが出来ました事に感謝申し上げます。ところが日本から参加のロータリアンの中で不名誉な事か一部で行なわれたことを耳にし、大変残念に思っています。ロータリーバッヂを付けて何と言う事だという気がしています。こういう会員はハッキリ言って除名すべきものと思います。その事実が日本の新聞で報道されたと言う事は、現地ではもっと大きく扱われていると思ひ又世界でも話題になる程非常に不名誉な事だと思ひます。

「旅の恥はかき捨て」と言う考え方で国際大会に臨むのは、もってのほかであり、ロータリアンはロータリーの親善大使のつもりでホスト国を訪問する訳ですから、こう言う事はあってはならないと考ます。

前回のフォーラムの時に「ロータリーと私」というテーマで、遠藤さん、奥木さん、森田さん、飯島さん、関岡さん、伊東さんの6名の方々から当日お話を一言づつして頂きましたが、その時の話を思い出してみると、

遠藤さんは、出席委員長でもありますので出席の重要性を話されていましたが仕事との関係もあって100%出席という事は現実には困難だけれどメイクアップが有るのでそれを十分活用していくべきだろうし、他クラブ出席を特典だと考えるべきであると言われていました。更にロータリーの寄附にもふれ、今の経済情勢からの寄附は困難な状態ではあるがしかし米山準功労者、ポールハリス、準フェローなどの制度を利用すれば、知らず知らずのうちに米山功労者になりポールハリス、フェローを達成できるのでせめてそういう方法を考えるべきだと思っていますとのことでした。次に職業奉仕の関係ですが、「職業宣言」は1989年規定審議会で議決されたものであって、ロータリアンの職業人としての自覚の拠り所として宣言されています。それから奥木さんはサラリーマン、ロータリアンと言ひ表現をしていました。たしかに大企業の中では企業としての制約があります。したがって会社の理解があつて始めて成りたつものだと思います。奥木さんが勤務されているニッサンは大変理解がある様で支店長会議の時などは激励を受けているとの事でした。それから森田さんは非常に出席が楽しい、その楽しさを皆さんと共有出来る。四つのテストは日常の反省材料になる。パース会長の言葉には感動したと言ひされました。飯島さんはロータリーに入つて知人、友人が増える事を願っている様ですし、会員との友情を深める事が出来ると言ひ事でロータリーのメリットと言ひか入会の動機として話されました。関岡さんの話では、イニシエーションスピーチ以外に職業その他の会員の体験話が聞けたならば良いのでは、ないかなどと話されたと思います。伊東さんは職業奉仕の精神を学び取りたいという事です。鶴海さんは今はロータリー理解以前の問題であつて現実離れの世界のような気がすると言ひされてました。だいたい以上の様な事がその時のフォーラムの中で皆さんが話された事と思います。

今日、実はもう一度クラブフォーラムの時の「ロータリーの体系的理解」の関係図を配



りました。ロータリーの色々な書物を勉強しようと思って飛付いてもなかなか理解が出来ないと言う事がありまして、まずロータリーを体系的に理解をした上で、そう言う書物をひもといて見る方が理解しやすいし、これからのクラブ活動の中でもそういう体系的な関わりを理解しておく方が的確な判断が出来るのではないかと考えます。

まず「ロータリーの綱領」が前提にあり、この「ロータリーの綱領」はロータリアンである以上は十分に理解しなければなりません。これは国際ロータリーの定款第4条及びクラブ定款第3条に規定されています。1927年に「奉仕の実践」との関係で四分法をもって理解するという事で確立され、それ以降現在までロータリーの活動の基本となっております。まず第1は「奉仕の機会として知り合いを広めること」これは「クラブ奉仕」です。2番目として「事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。……あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。……そしてロータリアン各自が業務を通じて社会奉仕するためにその業務を品位をあらしめること。」これは「職業奉仕」の理念であります。3番目として「ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理念を適用すること」が「社会奉仕」となります。4番目が「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」これは文字通り「国際奉仕」であり、「四大奉仕」と「ロータリー綱領」の相互の関係は以上のようになります。

そして行動基準として「四つのテスト」があります。「四つのテスト」とはロータリーで創作された標語ではなく、これはアメリカのあるロータリアンが自分の企業の中で社訓としてこれを作ったという歴史があり、それが何年かして、ロータリーの行動基準として採用されたのです。

フォーラムで森田さんの反省材料になると言った通りであって、皆様おそらく、これを

事業所内などの目に付く所に架けてあると思います。又「四つのテスト」の歌もあって、歌で覚えますとすらすらと出て来ます。ロータリーの全ての行動基準として適合されると思います。

したがって「ロータリー綱領」を前提に「行動基準」に準じてそれぞれのロータリー活動が実践されなければなりません。

「職業宣言」は、1989年規定審議会で決議されておりますが、これは「職業奉仕」の指針であります。この中で「職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。」以下の各項目は、ロータリアンとして、私以下の要請に応えんとするものであるという宣誓の形になっております。最後の項目に「事業または専門職務に関連して、通常容認される限度を超えた便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めずまた与うることなかれ。」とありますが、これは、1905年のロータリー創立の目的は、親睦と相互扶助でした。その御、ロータリーの目的は親睦と奉仕として確立されましたが、現実には、ロータリアン同士変な取引関係は当然に起きてきます。その場合の心構えがここに書かれていると理解して下されれば良いと思います。

次に「社会奉仕」です。「決議23-24」という言葉をお聞きになると思いますが、決議23というのは声明年度1923年と言う事ですし、34とは決議番号です。この「決議23-34」は、「社会奉仕に関する声明」です。これに付帯してアナハイムの規定審議会、これは1992年に行なわれましたがここに付帯決議がなされています。「23-34」が基本である事はまちがいない、これに対する付帯決議として92年の286号があります。

「ロータリーの奉仕概念」は、基本的にはロータリーの草わきの時代から個人奉仕(I Serve)として貫かれて来ています。一方で個人奉仕を育成又は拡大して行くクラブの役割があり、その理念にもとづき団体奉仕が存在します。

ロータリーと私自身との問題なんです、永い間サラリーマン生活をしていたので、地

元の方々との交流もありませんでした。ロータリーに入会した当時は、例会出席だけと言われていたのですが、初年度から色々の役職を仰せつかり大変忙しい思いをする様になりました。しかし、だんだんとロータリーに親しみを覚え知人、友人も増え、例えば外出すると誰かロータリアンと出会うことが増えてまいりました。自分の生活が非常に豊かになって来たという実感があり、これがロータリーの恩恵かと考えます。また、職業上でもロータリーで学んだことが大いに役立っており、家庭生活でも同様です。一方、親睦で遊びの機会も増えましたが、お互いにそういう機会を持ちながら交流の輪が広がって行き、やがて奉仕に結びつくことが大きなメリットだという気がしています。

自分自信の背中が自分では見えないと同様に、自分自信の心も自分では見えない部分がある筈であり、ロータリーで心を学ぶことにより、背中で物を語る人間になりたいと考えています。

私の人生の目標はロータリー100年の2005年に置いており、ロータリーを学び続けたいと思っています。

「虎は死して皮を残す。」と言いますが、ロータリアンとして、死して心を残したいと願っております。

## ～お知らせ～

### ◆次年度プログラム委員会

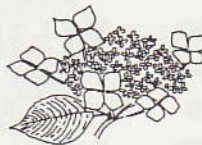
風間 茂穂 委員

来たる7月20日の例会にて、世界的な天文学の権威で、“国立天文台野辺山”の台長を務められ、現在は鹿児島大学教養学部長をしておられる“森本正樹先生”の特別卓話を予定しております。当日はわざわざ上京していただき「宇宙のメルヘン」と題した卓話をお聞かせ下さる予定です。7月20日前後には木星にスイ星が衝突するとも言われておりその辺りのお話しも聞けるかと思えます。せっかくの機会ですから会員だけで卓話を聞くのではなく、会員ご婦人や近隣ロータリアンにもお知らせをと考えご案内申し上げます。尚例会は京王プラザホテル多摩で行われますのでお間違いのない様お願いいたします。

### ◆ゴルフ同好会から

伊神 稔 委員

本日第19回スクラッチ会が東京国際C.Cで開かれ、海野栄一会員がベスグロ優勝を果たされましたのでご報告し、同好会会長の赤尾恭雄会員よりカップの授与を行います。ちなみに第2位は高村弘会員、第3位は横倉讓会員でした。



## 東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子  
幹事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景  
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547  
多摩センタービル7F

TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

